

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 きらり健康ふれあいウォーキング	
区分	番号	名称	
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち	
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	
施策	1	生涯にわたるスポーツ活動の推進	
小分類	2	健康・体力づくりの推進	
主要な施策	3	豊かな自然を利用した健康づくり	
事務事業番号	001	事務事業コード	54123001
		事業開始年度	平成 2 2 年度
		事業終了年度	平成 2 4 年度
会計種別	一般会計		予算書上の事務事業名 きらり健康ふれあいウォーキング
部 名	教育部	グループ名	社会教育 G
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 市民が気軽にウォーキングを行うことにより、運動習慣の継続・地域サークル化に繋げ、生涯スポーツの振興と健康増進を図る。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) ウォーキング及びノルディックウォーキング講習会の開催。 ・平成 2 2 年度は 6 回。(幌別地区) 登別市総合体育館周辺・登別市民会館周辺・登別市営陸上競技場周辺。 ・平成 2 3 年度は 6 回。(鷺別地区) 亀田公園新生町周辺、鷺別・若草町周辺、鷺別川・美園町周辺。 運動習慣の継続と地域のサークル化の確立。 市民スポーツ・健康フェスティバルにおいて「ヘルスウォーキング大会」の開催。 ウォーキングマップの作成。(亀田公園新生町周辺、鷺別・若草町周辺、鷺別川・美園町周辺)
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) ・ノルディックウォーキングの普及。(各地域においてサークル化が進んでいる) ・ウォーキングの習慣の定着。 ・ノルディックウォーキングのサークルの組織支援。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) きらり健康ふれあいウォーキング実施要綱

指標の推移							
区分	単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	ウォーキング講習会等及びヘルス ウォーキング大会の参加人数	人	目標値	150	150	150	150
		実績値	177				
		人	目標値				
		実績値					

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 地域づくり総合交付金	千円			500	500		1,000
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1,353	1,292	599	599	1,099	2,297
合 計				1,353	1,292	1,099	1,099	1,099	3,297
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	332	341			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		332	341			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市民の生涯スポーツの振興と健康増進・体力向上及び医療抑制効果の一助ために必要。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 講習会の参加人数の増加、サークル組織化が進んでおり、多くの市民が、ウォーキングに親しむ機会が確保されている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 市民ニーズを踏まえ更なる内容の検証、展開を進めることで、事業の拡大や参加者の増加につなげることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 市民のウォーキングに対するニーズは高まっており、さらなる展開を図るためのコストの削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	市民のスポーツに対する関心は年々高まっており、中でも気軽に行うことができるウォーキングに対する関心は高く、健康増進・体力向上のためには必要。なお、平成23年度実施をもって明日のまちづくり特別枠事業としての実施は終了とする。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）